

授業改善等に関する報告書（2022年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2022（後期）国文学科】授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|----------------------|-------|---|
| Japanese Linguistics | 山内 博之 | Google翻訳を使って英語を書く、ということ自体に対しては、受講生のみならずは十分に慣れ、英語に対する抵抗感は、あまりなくなったのではないかと思います。 問題は、英語で何を書くのか、ということですね。日本語学や日本語教育への理解が重要なのだということ、改めて感じました。 |
| 仮名書法 2 | 伊藤 文生 | manabaのアンケートおよびレポート機能を利用した「この授業で何を学び、そしてこれからどんなことを学びたいか」という設問に対して、以下のような回答があった。全員がそれぞれ十分に学修できたと評価する。 「授業内で扱った実際の原本などにも触れてみたい」「授業で取り扱った歌をもっと詳しく学びたい」「臨書だけでなく、創作作品への関心を高めて学んでいきたい」「変体仮名を書くのも読むのも楽しかったのでこれからも触れていきたい」「学習の成果を実感できた」「仮名の形、字源、その読みが身についたと感じられた」「字源をただ覚え学ぶだけではなく、同様の字でも比較すると形が異なることの興味深さ、動画を通して書への心意気や奥深さも知ることができた」「後期の授業では、前期の授業で学んだことを踏まえ、一生涯態に取り組むことができた。中でも、毎回の異体仮名の練習では、実際に仮名を書くことで、文字の持つ美しさや、独自の書法を感じる事ができた」「丁寧に文字を書くことの大切さを学ぶと同時に、文字を書く際、自分自身の心を落ち着かせ、集中することの大切さを学ぶことができた」「学び始めた頃と現在を比べると、かなり多くの仮名を読めるようになったと感じる」「初めは全く区別のつかなかった仮名も、回数を重ねることで、確実に区別できるようになった」「仮名の持つ美しさや書法、読みについてなどの学びに加え、文字を書くことで精神を整えることができること、精神面に関する新たな学びを得ることができた」「今後、教師になった際、自信を持って生徒達に書写や書道を教えることができるように、様々な和歌を鑑賞したり、臨書したりすることを通して、より仮名について知っていききたい。 その上で文字の持つ美しさなど、芸術面への知識も深めたりし、様々な角度から仮名を捉え、学び、深めていきたい」「実際に筆を使って仮名を臨書することで、仮名の魅力に触れ、仮名ならではの良さや、それぞれの持つ特徴に気づくなど、自身の経験を通して学んだことを生徒達に伝えたい」「少しずつ読みかつ臨書することによって、伝統的な書法を実践的に学んだ」「ビデオ教材を活用して、仮名書法の巨匠・大家の書きぶりを観察しつつ、毛筆はもとより、硬筆による書き方についても学んだ」「教師という立場に立った時にどのように生徒に仮名文字というものについて教えていくかを考えたい」「自分が思ったことは貴くことがとても大切だと学びました。本当に自分がやりたい事を皆に包み隠さず、誰に何と言われても自分を貴く己を学びたい」「古典作品からかな文字を実際に見て書くことで現在のひらがなへの変遷を深く知ることができた。また、かな文字を学習することでより古典作品への興味が湧いた」「くずし字を実際に書くことで、筆やペンのどこに力を入れたり、抜いたりするのかを学ぶことが出来ました。どういう筆のコントロールをすれば綺麗にくずし字をかけるのかということがわかりました」 |
| 漢文学基礎演習2 | 秋谷 幸治 | 今年度は本授業も対面授業が再開されました。授業においては、特に知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間とをメリハリをつけて設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば賀知章「回郷偶書」詩に関して、方言を活かした文芸を挙げるなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。授業アンケートの結果を見ると、「詩人の生活との関係性も合わせて学ぶことでより深く漢詩を学ぶことが出来た」といった肯定的なコメントを複数もらいました。今年度の授業で100分授業の時間配分がつかめてきましたので、来年度は学生自身に考えさせる時間をより増やしていきたいと思っています。 |
| 漢文学基礎講読 b | 田中 靖彦 | 授業に対し高い評価をいただき誠にありがとうございます。漢文学について「興味がなかったが興味を持った」「苦手意識があったが、教務を持つようになった」などのコメントもいただき、大変うれしく思います。今後さらによりよい授業ができるよう努めてまいります。 |
| 漢文学基礎講読 b | 田中 靖彦 | 授業に対し高い評価をいただき誠にありがとうございます。本授業を通して、以前より理解できるようになった、興味が持てたといったコメントもいただき、大変うれしく思います。今後さらによりよい授業ができるよう努めてまいります。 |
| 漢文学基礎講読 b | 田中 靖彦 | 授業に対し高い評価をいただき誠にありがとうございます。「丁寧にわかりやすかった」「非常に楽しく、多くの学びを得た」などのコメントもいただき、大変うれしく思います。進捗スピードについてもいくつかご意見をいただきましたので、それらも取り入れつつ、今後さらによりよい授業ができるよう努めてまいります。 |
| 近現代文学演習 2 | 棚田 輝嘉 | 好評価を頂き、安心いたしました。ただ、説明や講評の部分で、聞き取りにくかったり、分かりにくい点があったように思います。来年度も同じ形式で行いますので、本年度の皆さんのご意見を踏まえて改善していききたいと思います。 |
| 近現代文学史 b | 棚田 輝嘉 | 好評価を頂き安心いたしました。ただ、私の発話が分かりにくかったようです。この点については、ゆっくり話す等の工夫をして行きたいと思っています。 |

【2022（後期）国文学科】授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|------------|--------|--|
| 近世文学演習 2 | 佐藤 悟 | 学生からのコメントもありませんし、標準とは誤差の範囲内でしょうから、コメントは控えます。 |
| 近代文学基礎講読 b | 棚田 輝嘉 | 好評価を頂き安心いたしました。ただ、解説などの点で、まだまだ足りない点があったなと思っています。来年度以降、説明方法などについてさらなる工夫をして行きたいと思えます。 |
| 古典文学基礎講読 b | 越後 敬子 | この科目に対して、好き嫌い、得意不得意はあったと思うが、発表を通して、国文学の緻密な研究方法の一端に触れることができたと思う。授業内にアンケートに回答してくれるよう促したが、回答率が6割に届かなかった。一考したい。 |
| 古典文学基礎講読 b | 池田 三枝子 | 前期科目「古典文学基礎講読 a」に引き続き、授業が理解できなかったという回答がなく、9割以上の方が成長を実感できたと回答しているのは素晴らしいと思います。また、8割以上の方がこの分野をさらに学びたいと回答しているのは、この分野に対する理解が深まった証です。この学修成果を今後の学びに繋げて頂けるよう願っています。 |
| 国語学演習 2 | 山田 里奈 | この授業では、『春色梅児誉美』を読みながら、国語学に関する事象を取り上げ、論文紹介と簡単な調査の発表をしました。これより、卒論の作成方法を学んでもらえたらと思っていました。受講生それぞれが、論文を踏まえた調査とその結果をきちんと示せていたと思います。他の分野でも役立ててもらえたらと思います。また、授業内で行なったグループワークも積極的に取り組めていたと思います。 |
| 国語学演習 2 | 福嶋 健伸 | 「とにかく新鮮な授業でした。他の授業ではこのようなことをやったことがありませんでしたが、とても楽しかったです。私自身、古典の現代語訳はどれも堅苦しいものばかりで自己流に崩して解釈することが好きだったので（高校時代）、それからさらに飛躍した内容に取り組めて楽しかったです。他の方の訳も毎週見ることができ、なかには本当に想像もつかないような現代語訳をされる方もいて、本当に新鮮で楽しい授業でした。ありがとうございました。」「あらゆる所に配慮が感じられる授業であり、とても満足度の高い授業でした。教授のコメントも的確であり、かつ楽しみながら学べる内容でした。」等の肯定的なコメントが多く、当初の狙い通りの授業が展開できた。その証として、「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値は、平均を超えている。 |
| 国語学概論 b | 山田 里奈 | この授業では、国語学の分野のうち、主に音韻、文体、待遇表現、日本語学史を扱いました。授業内で課題を出しましたが、受講生それぞれが、積極的に取り組めていたと思います。毎回、提出された内容を読むのが楽しみでした。自分が使っている言葉や周りの言葉について考えてみるという経験を通して、国語学への興味を深めてもらえたらと思います。 |
| 国語学概論 b | 福嶋 健伸 | 「授業が面白かったです」「発音することについて具体的に知ることが出来た。文字を知らない子供と、文字を知っている大人では濁点がつく発音が違うことが面白と感じた。」「身近なことと言語学を結びつけて考えることができた。」「言語学について色々な事が知れてとても面白かったです。説明も例え方がとても分かりやすくして理解しやすかったです」のような肯定的なコメントばかりであり、「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値も、平均を超えている。資格の関係で、本授業では、音声学や音韻論の内容を含む必要があるが、国語学の授業で、音声学や音韻論も含めて授業をしなければならない場合、学生の評価を得るのは本当に難しいので、授業としてうまくいったと思う。 |
| 国語学基礎演習 2 | 山田 里奈 | この授業では、『安愚楽鍋』を通して、明治初期の日本語について学びました。興味を持った論文を紹介し、それを踏まえた簡単な調査をして、発表してもらいました。コーパスを利用して調査したり、他の資料から用例を持ってきたり、『安愚楽鍋』の担当範囲以外のところから用例を拾ってきたり積極的に調査する姿を見ることができました。論文を読むだけでなく、それを自分の持っている資料で確かめてみるこの面白さが伝わっていればと思います。また、『安愚楽鍋』のあらすじや人物紹介、語句調べについても、受講生それぞれが、詳細に取り上げていて、発表資料作成に励む姿が見られました。授業で使用した辞書や論文検索方法等は、他の分野でも利用できると思えますので、役立ててもらえたらと思います。 |
| 国語学研究 b | 吉田 雅子 | アンケートへのご協力ありがとうございました。今後の授業運営の参考にしたいと思います。この授業で学んだことを皆さんの今後の学修に活かしていきましょう。吉田雅子 |
| 国語史 b | 山田 里奈 | この授業では、主に近世以降の日本語について扱いました。動画の視聴期間を一週間と限定していましたが、欠席する人も少なく、毎回の小テストにもきちんと取り組めていました。時々、小テスト等でミスをしたことがあり申し訳なかったのですが、その際にも、きちんと指摘してくれる人が何人もいて、積極的に取り組んでくれていることが伝わってきました。ありがとうございました。 |

【2022（後期）国文学科】授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|------------|--------|--|
| 国文学概論 b | 佐藤 悟 | マイクを使い忘れたことは反省しています。文学とは何かということを経史的に捉えることができるようになったことは嬉しく思います。 |
| 国文学概論 b | 舟見 一哉 | 概ね好評であったことに安堵している。来年度はオンデマンド教科となるので、今回のアンケートを活かした新たな授業構築に取り組みたい。 |
| 国文学概論 b | 棚田 輝嘉 | 説明が分かりにくいところがあったようです。また、双方向での授業に対する希望も多くあり、来年度以降はさらなる双方向授業をしていきたいと思います。 |
| 上代文学演習 2 | 池田 三枝子 | 授業について100%の方が「十分理解できた」「ほぼ理解できた」と回答し、週あたりの予習復習が2時間以上とする回答が75%だったのは素晴らしいと思います。それに伴い「成長を実感した」とする回答も100%でした。前期科目「上代文学演習1」を踏まえ、皆さんがより熱心に取り組んだ成果が出ています。 |
| 上代文学史 b | 池田 三枝子 | 授業について、理解できなかったという回答がなく、100%の方が「自身の成長が実感できた」「専門的に学びたい」とする回答しているのは喜ばしいことです。ただし、週あたりの事前事後学修が1時間未満の受講生が6割を越えているので、課題に対する取り組みの促進が必要であるというのが反省点です。 |
| 中古文学演習 2 | 舟見 一哉 | 概ね好評であった。難解な作業を伴う授業だったが、積極的に学生が参画してくれたおかげでスムーズに授業が進んだ。四年ゼミ生のサポートも大きかったので、この体制を来年度も継続する。 |
| 中古文学演習 2 | 菅原 郁子 | 本授業の到達目標は、通年で古典文学の具体的な研究文献の検索・収集の方法を知り、問題テーマを自ら発見できる力を身につけることであり、凡そ達成出来ていたと思います。今後は、卒論やより専門的な授業課題が多くなると思います。本授業で培った平安時代の古典文学・文化史の理解と考察を深める力を最大限に活かしてさらに視野を広げて欲しいと思います。 |
| 中古文学基礎演習 2 | 舟見 一哉 | レベルの高い演習であったかと恐れていたが、概ね好評であり安堵した。来年度も引き続きこの形で進めたい。 |
| 中古文学研究 b | 舟見 一哉 | 概ね好評であった。対面ゆえの良さがあったと推察される。来年度はオンデマンドになってしまうので、やや懸念される。 |
| 中古文学史 b | 庄司 敏子 | 中古文学に幅広く触れ、その関係性を考えることが授業の狙いであった。「知らなかった作品に触れることができた」という感想も多く、授業の目的を概ね達成できていたと思われる一方で、「作品の内容を深く説明してほしい」という意見も見られた。時間が許す限り内容にも触れるべきであった。「板書が少なく眠くなる」との意見もあり、今後は資料と板書の割合に留意するつもりである。データでは予・復習の時間がやや少ないようであった。毎回の課題を増やし、さらに要提出とするなどして学習時間の確保に努めたい。 |
| 中国文学演習 2 | 田中 靖彦 | 授業に対し高い評価をいただき誠にありがとうございます。毎回の授業範囲の予習は大変だったが、面白い話を多く知ることができたため授業を受けて良かったと思った」など多くのコメントもいただき、大変うれしく思います。今後さらによりよい授業ができるよう努めてまいります。 |
| 中国文学研究 b | 秋谷 幸治 | 今年度は本授業も対面授業が再開されました。授業においては、特に知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間とをメリハリをつけて設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば劉備の逸話に関して、理想的な上司は曹操型か劉備型かを考えるなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。授業アンケートの結果を見ると、「中国の文化や中国での価値観を学べました」といった肯定的なコメントを複数もらいました。 |
| 中国文学史 b | 秋谷 幸治 | 今年度は本授業も対面授業が再開されました。授業においては、特に知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間とをメリハリをつけて設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば閨怨詩に関して、男性歌手がうたう女性目線の歌を挙げるなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。授業アンケートの結果を見ると、「昔の中国の人の考え方や現代に生きる自分とを比較しながら考えたり、実際に詩を作る回もあってより中国の文学を深く学べた」といった肯定的なコメントを複数もらいました。今年度の授業で100分授業の時間配分がつかめてきましたので、来年度は学生自身に考えさせる時間をより増やしていきたいと思います。 |

【2022（後期）国文学科】授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|------------|--------|--|
| 中世文学演習 2 | 大橋 直義 | この授業では前期に引き続き、延慶本平家物語を中心に、女人哀話を通読するという演習を行いました。中世文学によくある漢字カタカナまじりの本文テキストにてこずったり、複数語本を比較しながら、『平家物語』がイメージしていた情景を理解していくという方法について、皆さんそれぞれに進展を得ることができたと思います。それは今年度に卒業論文を執筆した皆さんにとってはもちろんのこと、来年度に研究・執筆を控えている皆さんにとっても意味あることだと考えています。どの時代・ジャンルの研究をするにしても、この授業で学びえた方法や知見をいかして、よりよいものを書き上げてください。応援しています。 |
| 中世文学基礎演習 2 | 大橋 直義 | この授業では、前期に引き続き、室町時代の絵巻の詞書を釈文することを学びました。受講者の皆さんが個々人で体感できているように、古典本文の読解力について、とても大きな飛躍があったと考えています。来年度に向けての課題としては、読解に加えて、語義や表現の来歴を調査する「注釈」という点に力点を置くようにできれば、さらにその先の卒業論文執筆に向けて、大きな安心材料となるでしょう。ぜひ、このまま、古い時代の書物や文化に関心を持ちつづけて、色んなものを読み進めてください。 |
| 中世文学研究 b | 大橋 直義 | この授業では『平家物語』屋島合戦譚を精読しました。近代文学を専攻しようと考えている学生さんの方が多い状況のなかで、日々のリアクションペーパー記入を始めとした授業への関与について、とても優秀であったとすることが出来ます。また、レポートについてもそれぞれの関心に基づいた調査が行えており、水準を大きく超えた成果をあげることができました。最終学年での卒業論文執筆にあたって、この授業で学んだ方法などを活かして取り組んでください。 |
| 中世文学史 b | 大橋 直義 | この授業では、日本文学と「声」さらに「絵」という観点に着目し、広く見わたすという方法をとってきました。そのせいか、当初予定していた「パフォーマンス」という観点にはほぼ立ち入ることができず、申し訳なく思っています（能・狂言について取り扱うことを想定していました）。とはいえ、皆さんが書き上げた期末レポートについて、皆さんそれぞれの関心に基づいた分析や調査が行われていて、近年まれにみる高水準の学年であったと総括したいと思います。中世文学というと、なかなか一般にはイメージしづらいものが多いとは思いますが、いわゆる王朝物語だけではなく様々な物語・説話にも関心をもって、来年度以後も学んでもらえればと思います。 |
| 特殊演習 2 | 佐藤 悟 | 標準的な結果のようですし、コメントがありませんのでコメントは控えます。 |
| 特殊演習 2 | 山田 里奈 | この授業では、卒論完成に向けて、個別指導と進捗具合の発表を行いました。夏休みの間に調査した結果を踏まえて、受講生それぞれが、オリジナル性のある結論を導き出すことができました。 |
| 特殊演習 2 | 山内 博之 | それぞれの学生に対する個別の指導は、基本的にmanabaの掲示板で行なっていましたが、積極的に掲示板を利用する学生とそうでない学生との間で、大きな差がついてしまったように思います。その点が問題だと感じました。 |
| 特殊演習 2 | 舟見 一哉 | 学生が非常に意欲的に取り組んでくれたためスムーズに授業を進められた。私からもお礼申し上げます。 |
| 特殊演習 2 | 大橋 直義 | 卒業論文執筆準備のための授業でした。基本的には、集団で行う授業ではなく、個別面談のかたちで授業を進めていきました。無事に卒業論文を提出することができましたが、まだ加筆修正が必要な点もあります。最後まで取り組んで、晴れやかな気持ちで卒業式を迎えてください。期待しています。 |
| 特殊演習 2 | 棚田 輝嘉 | 好評価を頂き安心いたしました。成長も実感していただいているようで、よかった！の一言です。これからの皆さんの成長も楽しみにしています。 |
| 特殊演習 2 | 池田 三枝子 | 大学4年間の学びの集大成である卒業論文を書くためのこの授業で、100%の方が「意欲的に取り組んだ」「総合的に判断して満足した」と回答しているのは、大変喜ばしいことです。卒論執筆で習得したものを社会に出てから生かして頂けるよう願っています。 |
| 特殊演習 2 | 田中 靖彦 | 非常に高い評価をいただき、まことにありがとうございます。皆様の卒論執筆のお役に立てたのならば光栄に思います。 |
| 特殊演習 2 | 福嶋 健伸 | 「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」では、平均を超えており、「自らが疑問に思ったことを自分自身で調査し考察する力が身に付いた。」のような肯定的なコメントがあった（否定的なコメントは全くなかった）。18名の卒論指導というのは本当に大変であったが、全員が良い卒業論文を書けたので、授業としてうまくいったと思う。充実した授業だった。 |

[2022（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|-------------|-------|--|
| 日本語教育学演習 2 | 山内 博之 | 1限の授業であったにもかかわらず、遅刻・欠席が少なく、授業中も、みな熱心に課題に取り組んでいるように見受けられました。受講生のみなさんの受講態度に関しては、とても満足しています。私も、授業をしていて楽しかったです。 |
| 日本語教育文法-中級- | 山内 博之 | 受講者数が少なかった（18名）にもかかわらず、一方通行の授業になってしまったように思います。その点が、私の反省点です。また、期末テストの点数にも、かなりのばらつきがありました。予習的な宿題しか出していなかったので、復習的な宿題も出すとよかったのかもしれませんが。 |
| 日本語文法論 b | 福嶋 健伸 | 「この授業を受けて、生徒に古文を面白いと感じさせるために必要な事や、教える上での工夫について考える力が身に付き、少しずつではあるが、「教え方」についての想像がつきやすくなった。ありがとうございました。」 「教員になるうえで、どのような説明をしたら生徒に分かりやすく伝わるのかをたくさん考えることが出来て、良かったです。」のような肯定的なコメントばかりであり、「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値も、平均を超えている。古典文法の授業で、学生の評価を得るのは本当に難しいので、授業としてうまくいったと思う。 |